



企画展「美術の眼、考古の眼」 展覧会開催・関係者向け内覧会のお知らせ

横浜市歴史博物館では1月22日から、現代アートと縄文土器のコラボレート展覧会を開催いたします。横浜市域出土の考古資料と現代作家の作品という異なる分野の「モノ」を同じ空間に展示することで、みる人の自由な発想を刺激し、分野にとらわれず展示をみることの自由を探る、そのような期待を込めた展覧会です。

展覧会概要

- 【会 期】令和4年1月22日(土)～3月6日(日)
【開館時間】9時～17時(券売は16時30分まで)
【休 館 日】月曜日
【会 場】横浜市歴史博物館 企画展示室
【主 催】(公財)横浜市ふるさと歴史財団
【共 催】横浜市教育委員会
【観 覧 料】一般800円、高校・大学生600円、
小・中学生・横浜市内在住65歳以上500円

【開催趣旨】

ミュージアムでは、考古資料や美術作品をふくむ歴史資料＝「モノ」資料においては、「モノ」が持っている様々な情報を取りだし、つくられた年代、当時の社会や文化といった背景を読み解き、そのほんの一部が展示されます。それはある意味では、みせるという行為が恣意的であるともいえます。しかし一方では、なにかをみるという行為は「受け手」(観者)の文化、社会、経験といったフィルターをとおしてみられるということでもあります。本展では、**横浜出土の考古資料をとおしてみる現代美術という「考古の眼」**。そして、**現代美術をとおしてみる考古資料という「美術の眼」**。この二つをキーワードに、みる人の自由な発想を刺激し、分野を超えて確かに何か感じる“共感”や“違和感”を感じ取ってもらい、分野にとらわれず展示をみることの自由を探る、そのような期待を込めた展覧会です。



報道関係者向け内覧会のおしらせ

一般公開に先立ち開催前日の1月21日(金)14時から報道関係者向けに内覧会を開催します。担当学芸員が展覧会の見どころをご案内いたします。

お問合せ先

横浜市歴史博物館

副館長：井上攻

学芸員：橋口豊、吉井大門

広報担当：田中幸加

TEL045-912-7777